



藤原ゆみこ 日本画展—屏風 2022—

日本画の作品の形として伝えられてきた一屏風一。
平面でありながら立体の強さをも併せ持つ、
古くて新しいかたち。
金箔背景の六曲一双屏風を中心に、
象徴性と装飾性の共存する世界観を
御覧いただきたく存じます。

2022年10月5日(水)~28日(金)
8:30~20:00 | 土・日・祝日休館 入場無料
火・水・金曜 作家在廊

藤原ゆみこプロフィール

日本画家

東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業 同大学大学院美術研究科修了

東京藝術大学研究室勤務の後、アトリエ・ブナン設立・主宰、多くの公共スペースの壁画、屏風絵、アートプランを手掛ける。

併せて、個展を中心とした作品発表も展開している。

古典技法を重視しつつ現代性を合わせ持つ作品群には、真摯な写生を元に展開された作画と装飾性、同時に抽象的・象徴的表現もが

含まれる。作品は、屏風・掛け軸等の古典的表現形態をとりつつ、同時代における住・公共空間への協調をも図る。

また、心身の疾病・障碍・認知症等を抱えた様々な年齢層の方々への表現ワークショップを施設・病院へ出向いて行っている。

特に高齢者施設での通年ワークショップは、作品制作との両輪をなす重要な活動である。

■パブリックコレクション

- ・中川特殊鋼株式会社・医療法人社団いばらき会・明治神宮明治記念館末広の間壁画
- ・堺市シビック総合施設・私立陵陵高等学校・日立シビックセンター・常陽史料館
- ・座間市ハーモニーホール壁画・社会福祉法人心守会・立川市立図書館
- ・札幌厚生年金基金ビル壁画・名古屋第二日赤病院壁画・会津中央病院屏風 他

■著書

「赤い星と青い星」「一度も抱かれなかった人間の話」「おっちゃんの長い夏休み」他

■特別寄稿論文

「高齢者介護施設でのアートクラス—自らを取り戻すために—」 臨床描画研究 Vol.28

「藝術の地平—ケアへの繋がり—」 西日本芸術療法学会誌

■現在

東京藝術大学美術教育研究会会員、人と社会の活性化研究会会員
NPO 全日本美術家作品保管協会理事 NPO 芸術資源開発機構会員
アートミーツケア学会会員、医療法人社団いばらき会美術顧問 他

